

環境学習プログラムの開催

5月21日土曜日に、水産研究所において、財団法人おかやま環境ネットワークによる国際生物多様性の日記念ファミリープログラム「～自然にふれあい、楽しんで、地球の未来を考えよう～」が開催された。

小学生から70歳代の55名が参加した学習会では、県職員が岡山県の水産業や水産物、瀬戸内海の環境や水産研究所の取り組みなどを説明した後、研究所に隣接する西脇海岸へ移動して、海ゴミと海岸の漂着物調査や小型地びき網を体験した。地びき網でとれたスズキやメバルの幼魚、ヨウジウオやハゼの仲間、さらには危険生物であるオニオコゼやゴンズイなどを観察し、最後は皆で海へと再放流して終了した。生物多様性の日を前に、普段目にすることの無い沿岸域の多様な生物に親しみを持ってもらえたものと思う。



上左：座学の様子

下左：地びき網を体験する参加者

下右：漁獲物の観察

